

科目名	環境経営
担当者	小林麻理
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	本講義では、環境保全に対する政府・自治体をはじめとするパブリック・セクター、そしてプライベート・セクターの役割の増大を焦点として、広く環境経営という観点から、持続可能な社会を確立するキーコンセプトの一つである「環境」のマネジメントを検討する。
授業の到達目標	企業、NPO、自治体、政府、市民というアクターにとって環境経営がどのように位置づけられるのか、環境経営の具体的内容、論点を明確に把握する。
授業計画	<p>第1回 環境経営の意義と目的</p> <p>第2回 日本における環境ガイドライン(1)－環境会計ガイドライン－</p> <p>第3回 日本における環境ガイドライン(2)－環境報告ガイドライン－</p> <p>第4回 米国における管理会計型環境会計の考え方</p> <p>第5回 環境会計における費用対便益の考え方</p> <p>第6回 マテリアルフローコスト会計の考え方</p> <p>第7回 米国における環境マネジメント・システム</p> <p>第8回 GRIによるサステナビリティ・レポート</p> <p>第9回 国連持続可能性開発部における環境管理会計の手法と原則</p> <p>第10回 企業における環境経営とコーポレート・シチズンシップ・レポート</p> <p>第11回 国及び自治体における環境経営と報告書(1)</p> <p>第12回 国及び自治体における環境経営と報告書(2)</p> <p>第13回 マクロ会計の考え方(ゲストスピーカー)</p> <p>第14回 受講者のプレゼンテーション及びディスカッション</p> <p>第15回 総括</p>
教科書	特に指定しない。毎回資料を配布する。
参考文献	授業において適宜紹介する

成績評価方法	評価基準	
試験 %		
レポート %		
平常点評価 40%	授業で取り上げた論点に関する発言の積極性と授業理解促進への寄与度、出席は原則3分の2を下回らないこと。	
その他 60%	<p>授業におけるプレゼンテーションの内容（問題設定の適切性、問題意識、アプローチ、論点整理）及びプレゼンテーションに対する質疑応答。</p> <p>本授業では、授業の後半に授業で取り上げたテーマについて自由に発表者が問題設定を行うプレゼンテーションを課しています。発表時間は25分から30分、質疑15分から20分を予定しています。</p>	
関連 URL		
備考	授業について要望、質問等は積極的に、 mariky@waseda.jp にコンタクトすること。	